

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市西岡荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年2月6日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。 ・令和5年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでいるほか、健康体操など感染症対策を行っていることは評価できる。 ・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。 	総合結果
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座や事業を実施して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。</p> <p>今年度も、密を避けるための参加人数の抑制、手指消毒やマスク着用の励行など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のための対策をとり、運営を行いました。臨時休館が多かった昨年と比べ、利用控えの傾向も減り、1日あたりの来荘者数</p>	

	<p>は前年度と比べて104.7%と増加させることができました。</p> <p>寿講座では、健康増進講座として「ゆるらくエクササイズ」「ウェーブリングを使ってみよう」を実施しました。また、昨年度に続いて実施した「認知症予防講座」に加えて新たに「見え方教室」を実施したところ、好評をいただきました。</p> <p>創作活動では、密を避けるため定員を少なくし、実施回数を増やして希望者全員に参加していただくことができました。</p> <p>浴場開放事業でも、一度に利用できる人数の制限を設け、感染予防対策をとりました。</p> <p>ふれあい事業では、施設内外の環境の美化を心掛け、利用者の方が安らぎを得られるよう取り組みました。加えて、地域貢献活動として近隣の清掃活動を行いました。</p> <p>レクリエーション事業では、3館交流グラウンドゴルフ大会に加えて、3館交流ビリヤード大会や演芸大会を3年振りに開催することができました。</p> <p>これからも、新型コロナウイルス感染症対策の動向を見ながら、多くの方に利用していただくため、利用者ニーズに沿った事業やサービスの充実に取り組むとともに、新規利用者の開拓に努めます。</p>
<p>(3) アンケート結果の概要</p>	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は94%以上、職員対応は94%以上、施設の衛生管理は96%以上、安全対策は92%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
	17,639人	11,047人	
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>		

3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	23,920千円	
	市からの指定管理料	23,908千円	
	その他の収入	12千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	28,198千円	
	主な支出	人件費	17,611千円
		光熱水費	2,438千円
		修繕料	205千円
		業務委託費	564千円
		その他	7,380千円